

第12回 新聞紙で作る高速道路“橋”コンテスト

募集要項

団体応募



【事務局からのお知らせ】

2006年から開催しております「新聞紙で作る高速道路“橋”コンテスト」も今回で第12回を迎えることとなりました。これもひとえに多くの方々にご参加いただき、コンテストを盛り上げていただいた賜物と大変感謝しております。

当コンテストは、橋を始めとする「土木技術や高速道路事業に興味をもっていただく」という目的で実施して参りましたが、誠に勝手ながら今回をもって最終回とさせていただきますこととなりました。

長年、当コンテストにご参加いただき、ご支援いただきましたみなさまにはこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

最終回となります当コンテストへ奮ってのご参加をお待ちしております。

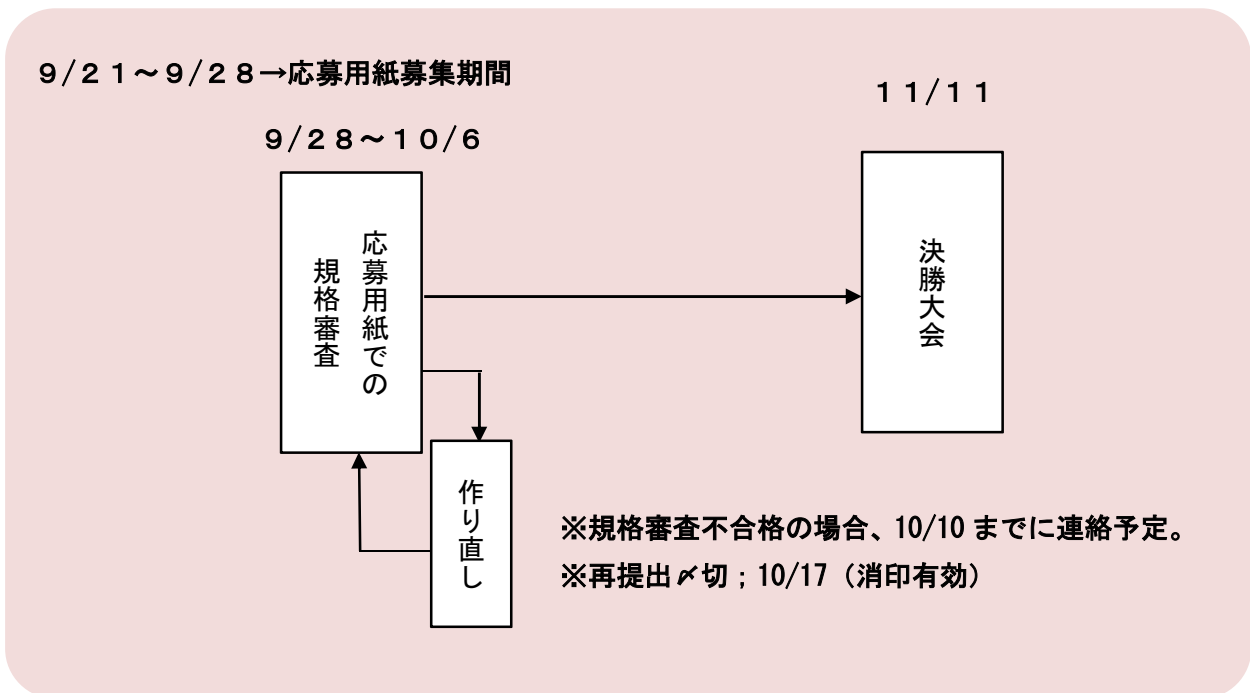
1. コンテストの概要

身近にある新聞紙と接着剤だけで、橋を制作し、強さや軽さ、デザインを競うコンテストです。

2. 競技内容

種 目	競 技 内 容
団 体 戦	同一の大学（院）、高専学校、専門学校、高校の学生1チーム3～5名で、3橋制作する。 制作した橋を耐荷部門の競技内容により、競技を勝ち抜き戦で行う。

3. 競技の流れ



3. 制作条件 **【前回大会から変更点が多数あります。必ずしっかりと確認してください。】**

(1) 使用材料・・・新聞紙と接着剤のみ

接着剤については日本国内で市販されている1℃～30℃の環境下で使用できる「のり」及び「木工用ボンド」のみで且つ乾燥後無色のもののみ使用可能とします。(接着剤を希釈するための水は使用可能) 使用した接着剤は応募用紙にご記入ください。

また、接着剤を全面にコーティングして使用することは禁止です。

器具を用いて熱を加えて溶かして使用するタイプの接着剤は禁止です。

着色や塗装についても禁止です。

(2) 形状及び寸法の条件 (規格審査内容)

①作品の長さ (支間長)・・・70cm以上

(75cm程度あると安心です。詳細は【14. 参考】を確認してください)

②橋台と路面の高さ・・・10cm以下

③高さ5mm程度の「ガードレール」の設置

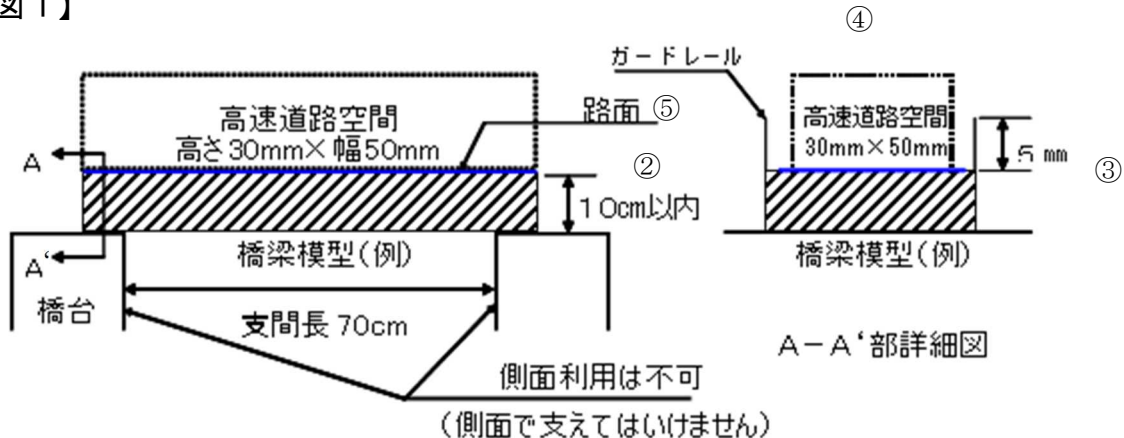
(厚さは自由です。おもりを下げる場所は、ガードレールの設置は不要です。)

④路面上全面に渡り、高さ30mm×幅50mm以上の空間を確保すること

⑤ミニカーが走行可能な路面を設置すること

※①～⑤については下図及びP10参考を参照

【別図1】



【橋台】



※橋台の詳細はP9をご参照ください。

←すべり止め貼付あり

(3) 重量

橋の重量（新聞紙+接着剤）が、100g以下

※100gを超えた場合、P3記載の「ペナルティ」が科せられます。

※150gを超えた場合は失格とします。

4. 応募方法

(1) 応募資格

- ・高等専門学校・高校・大学・大学院の学生1チーム3～5名
- ・決勝大会への来場3名以上を条件とします。
- ・同一校の同一課程、同一大学の同一研究室につき、2チームまで応募可とします。

(2) 受付方法

応募用紙に必要事項を記載の上、下記提出先まで郵送またはメールでご提出ください。

橋は、3橋制作の上、決勝大会会場までご持参ください。

(3) 提出先

〒460-0003

名古屋市中区錦2-18-19三井住友銀行名古屋ビル12階

中日本高速道路株式会社名古屋支社

新聞紙で作る高速道路橋コンテスト事務局 宛

e-mail:bridge-contest@c-nexco.co.jp

5. 競技日程

- ・応募受付期間 : 平成29年9月21日（木）～9月28日（木）（当日消印有効）
- ・決勝大会、表彰式 : 平成29年11月11日（土）

※競技時間については、応募者確定後、ホームページでご案内します。

6. 競技会場

- ・決勝大会、表彰式 : 電気文化会館
名古屋市中区栄2丁目2-5

7. 表彰及び副賞

種 目	順 位	副 賞
団体戦	第1位	賞状及び副賞（商品券 10万円相当）
	第2位	賞状及び副賞（商品券 5万円相当）
	第3位	賞状及び副賞（商品券 3万円相当）
	新記録賞 (92.0kg)	賞状及び副賞（商品券 3万円相当）

※表彰式では、団体戦種目の第1位と新記録賞の代表者を表彰式で表彰します。その他の入賞者には、賞状のお渡しとさせていただきます。

8. 参加賞

種 目	参加賞	支給条件	支給時期
団体戦	商品券 5千円相当	1チーム3名以上で 来場したチーム	決勝大会時にお渡し予定

9. 審査委員

	組織・役職名	氏 名
審査委員	中日新聞社 編集局中日スポーツ総局 局次長	齋田 太郎
審査委員	愛知工業大学 工学部 都市環境学科 教授	鈴木 森晶
審査委員	名城大学 人間学部 教授	水尾 衣里
審査委員	名古屋大学 名誉教授	山田 健太郎

※審査委員は追加・変更となる場合があります。

10. 審査・予選方法

(1) 規格審査方法

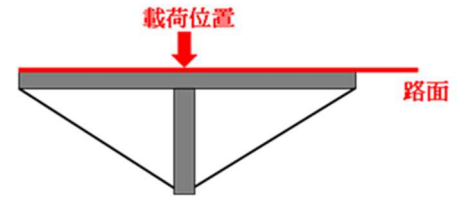
- ・ 作品受付後、事務局で応募用紙の写真により P2～3 3. 制作条件の(1)、(2)を満たしているかを確認する規格審査を行います。
- ・ 規格審査失格の場合は、10月17日までに再度橋を作り直し、応募用紙を提出してください。(17日必着) 17日中に合格とならない場合は、応募を受け付けません。
- ・ 規格審査を通過した橋と同形状であれば、決勝大会当日までの作り直しは可能です。

1.1. 決勝大会での競技方法

(1) 競技方法

①事務局にて橋を橋台に置き、載荷器具をセットします。

載荷する位置は、橋の「路面上」に限ります。



載荷方法

作品の路面の中央に縦80mm×横40mm、厚さ5mmのプレートに乗せ、その上にベルトを掛け、錘を垂直に下げます。



②競技者が載荷器具におもり（1kg単位）を、自らの判断で載せます。

③おもりを載せ、競技者の挙手から5秒間耐えると記録成立です。橋が崩壊するまで何回でもおもりを増やすことができますが、1競技者につき載荷可能時間制限は5分とします。

④橋が崩壊した時点で競技終了です。橋の載荷位置のたわみが100mmを超えた場合も崩壊とみなします。

⑤橋の重量が100gを超えている場合、載荷記録から下記計算式により、ペナルティを科した記録を、正式記録とします。

⑥競技者は、代表者1名とします。

《重量オーバーのペナルティ計算式》

正式記録 (kg) = 載荷記録 (kg) × (100g ÷ 作品重量 (g))

※小数第2位四捨五入

※同記録の場合は、作品重量が軽い橋を上位とします。

(2) 勝ち抜き戦の流れ

- ・ 1回戦：参加全チームの競技 上位8チームが2回戦進出
- ・ 2回戦：1、2位のチームが決勝戦進出、3、4位のチームが第3位決定戦進出
- ・ 第3位決定戦
- ・ 決勝戦

1 2. 決勝大会について

- ・ 決勝大会にご出場いただく方には、大会 2 週間前までにメールでご案内します。
- ・ 決勝大会、にご参加いただく方は、学校の所在地から会場最寄駅までの交通費をお支払します。
(詳細については、決勝大会参加者にご案内します。)
- ・ 団体戦の応募作品の著作権については、応募者に帰属するものとします。ただし、個人戦応募の橋については、当社に帰属するものとします。

1 3. その他

- ・ 入賞者の作品写真、チーム名、氏名、学校名、居住市町村をマスコミ等に提供することがあります。
- ・ 応募用紙記載の注意事項に同意いただける方のみ、ご応募ください。
- ・ チーム名については最大 10 文字までとします。
- ・ 募集要項に関する質問についてはメールにて別添様式に記入の上送付してください。回答については質問受付後 1 週間以内を目安に HP 上に公表します。(質問者情報については削除した形で掲載します。) 質問の回答については皆様ご確認頂くようお願いいたします。

提出先：メールアドレス bridge-contest@c-nexco.co.jp

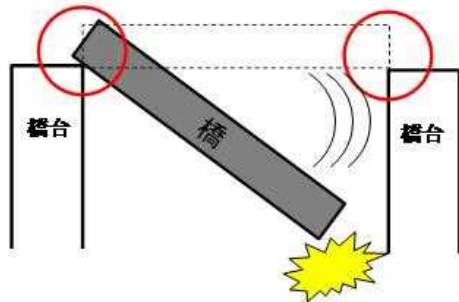
14. 参考

ポイント1

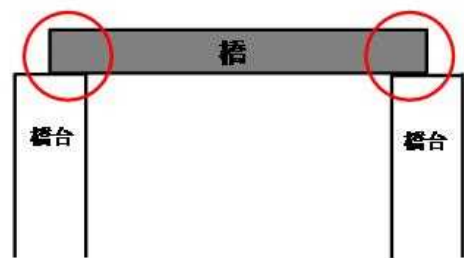
作品の長さは70cm以上であれば自由ですが、橋台の支間長が70cmのため、作品の長さは70cm以上にする必要があります。橋全体の重量にも影響しますが、タワミも考慮すると75cm程度あると安心です。

長さが70cmだと・・・

橋がかりが不十分で落下してしまいます！

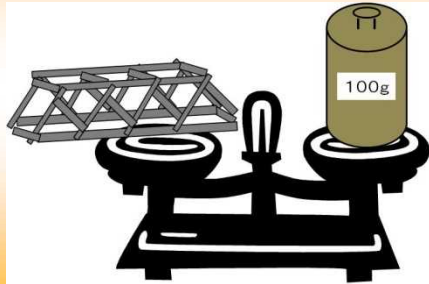


橋がかりは十分に取らしましょう。

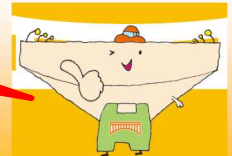


ポイント2

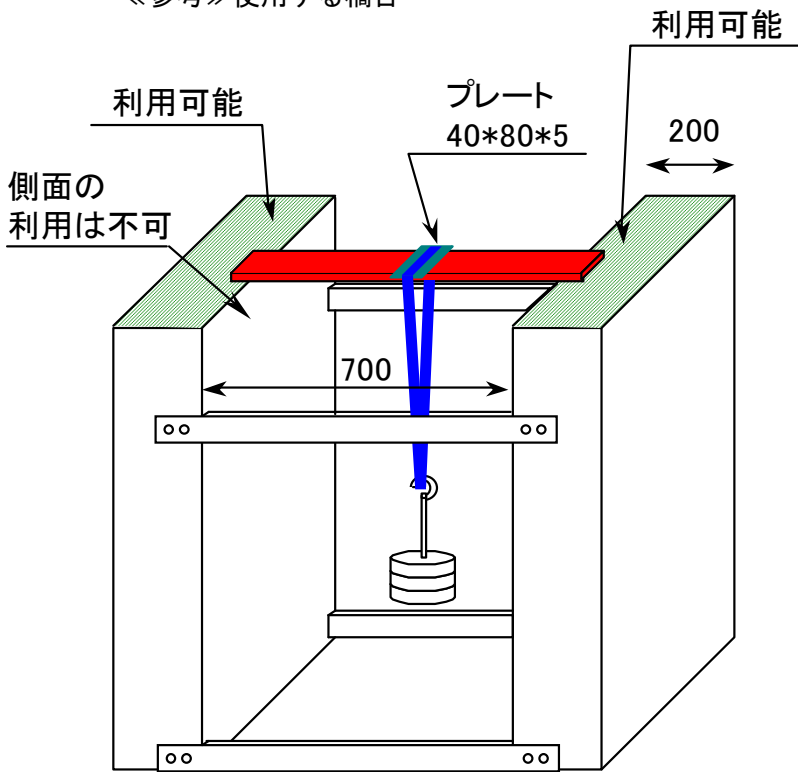
どんなに「強い橋」、「美しい橋」を作っても、重量オーバーで減点になって負けてしまったら、とても悔しいはず。重量設定は慎重に行いましょう。



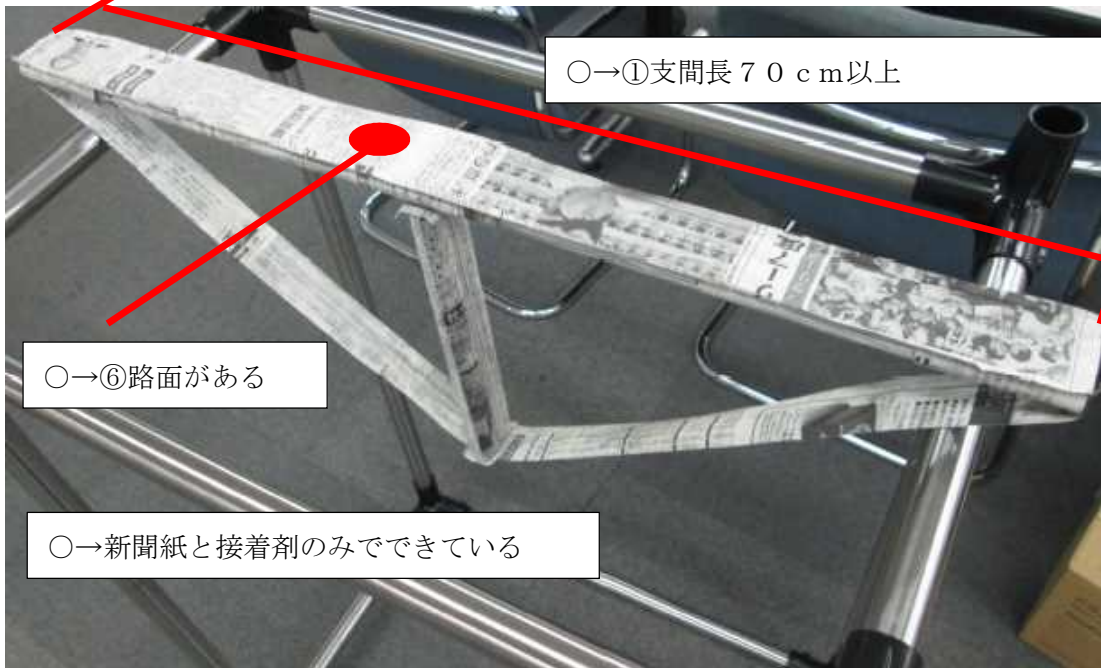
重量オーバーは、順位に大きく影響します！応募前に重量を確認しよう！



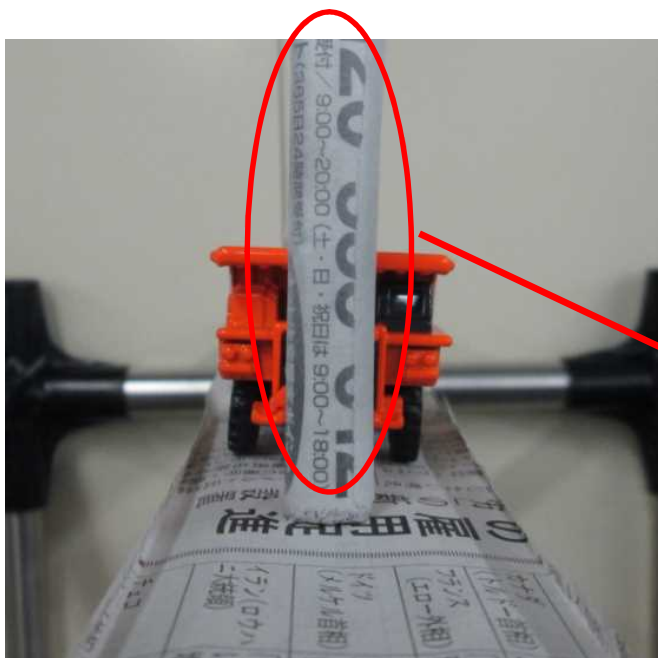
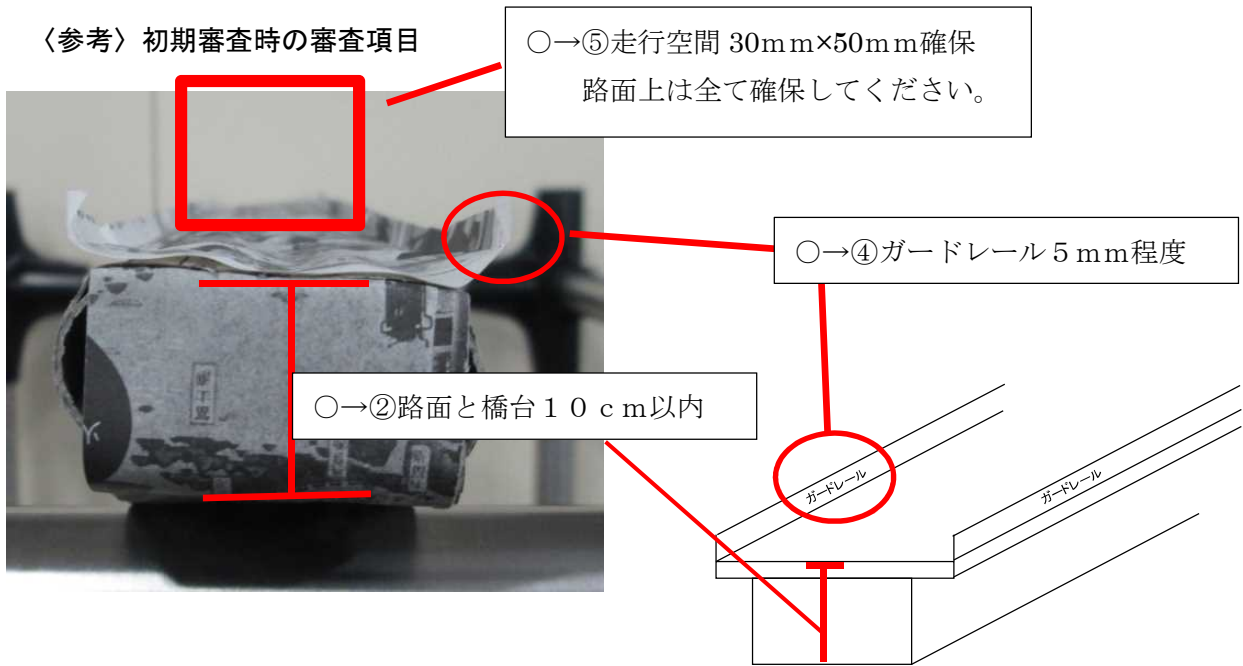
《参考》使用する橋台



《参考》初期審査時の審査項目



〈参考〉初期審査時の審査項目



×→⑤走行空間 30mm×50mm確保
できていません。
(ミニカーが通過できません)